

那覇市は90歳に!

～那覇市制施行90周年記念式典～

5月20日は、那覇市の誕生日。市制施行記念日です。市は、大正10年5月20日に誕生し、今年で90周年を迎えました! 去る5月20日(金)には、「いい暮らしより楽しい暮らしを」をテーマに「那覇市制施行90周年記念式典」が市民会館で行われ、多くの市民が参加し90周年を祝いました。

市は毎年、市制施行記念日に記念式典を挙行し、式典において、市政発展への貢献が顕著な方を那覇市政功労者として表彰しています。

また、今年は市制施行90周年を記念し、地域福祉の向上などに貢献しておられる個人、団体のみなさまを市制施行90周年記念特別表彰者として表彰しました。

その他にも、子どもからシニアまで参加した記念舞台「心の宝」が披露され、舞台をとおして世代間の親睦、連携と市民の結束を呼びかけました。

▲高い塔が目印の戦前の市役所。10・10空襲により焼失した

▲牧志(1950年旧グランドオリオン)にあった市役所

◀1953年～1965年市役所として使用された天妃小学校

◀1965年～2010年マンモス庁舎として新築された旧庁舎



お問い合わせ 秘書広報課 ☎861-5173

那覇市政功労者・那覇市制施行90周年記念特別表彰者

平成23年度は、次の7人の方々を那覇市政功労者として、63の個人・団体のみなさまを市制施行90周年記念特別表彰者として表彰しました。

みなさまの永年にわたるご尽力とご功績に敬意を表し、心からの感謝を申し上げます。

那覇市政功労者(敬称略)



ひでとも 湖城 英知
那覇大綱挽回保存会の会長として、那覇大綱挽回の継承に尽力。また沖縄都市モノレール代表取締役社長などの要職を歴任し、観光・産業の振興に貢献。



てつ 平良 哲
県議会議員として本市の発展に尽力。現在は、(財)沖縄観光コンベンションビューロー会長を務めるなど多方面にわたり市政発展に貢献。



こう 高良 幸太郎
那覇市交通指導員を務め、交通安全の確保に尽力。また、山下町自治会副会長や青少年指導員としても尽力するなど、地域のまちづくりに貢献。



まさこ 仲村 正子
那覇第4民生委員児童委員協議会の会長を歴任し、会運営や後進の指導助言に尽力するなど、社会奉仕の精神をもって地域福祉の向上に貢献。



あらかき いさお 新垣 勲
壺屋陶器事業協同組合理事長として壺屋焼の発展に尽力。また壺屋地区まちづくり協議会副会長などの要職に就くなど伝統工芸の発展に貢献。



えい 内原 栄輝
那覇市立垣花小学校の学校医を務め、児童の健康保持増進に尽力。また歯科医師会と医師会との連携に尽力し、地域医療の実践に貢献。



えい 宮城 榮三
那覇市自治会長会連合会会長として、協働によるまちづくり推進に尽力。また、首里文化祭実行委員会などの役員を歴任し、地域の振興に貢献。



みなさまの長年にわたるご尽力とご功績に敬意を表し、心から感謝とお祝いを申し上げます。

那覇市制施行90周年記念特別表彰者(敬称略)

【社会福祉功労部門】

赤嶺保子、栗國泰子、池間洋子、大城好子、小笠原文子、金城秀子、金城宮子、具志川慶子、白玉清子、田原法順、當間貴美子、外間豊子、前里正子、宮國泰雄、屋富祖ヒデ子、山城喜美子、島袋良子、西里吉子、社会福祉法人伊集の木会 理事長 黒潮武秀、社会福祉法人からし種の会 理事長 棚原信子、特定非営利活動法人ナカヤ 代表理事 屋富祖忠治、那覇市手をつなぐ育成会、特定非営利活動法人さばーと・なは 特定非営利活動法人ハンディサポートふれんど 代表理事・施設長 宮城良子、社会福祉法人 そてつの会

【産業経済功労部門】

大友貞雄、仲本政雄、福治友次、外間完造

【教育・スポーツ功労部門】

大城美智子、我喜屋優、喜屋武正雄、沖縄大学

【伝統文化功労部門】

安座間美佐子、上原昭男、島袋常榮、屋富祖幸子、喜舎場盛勝、仲宗根根長一、平山良明

【環境・保健功労部門】

高江洲旭、玉木史朗、宮城智恵子、渡久地正和、友寄英毅、長嶺信夫、坡座真博公、西登貴世、那覇市食生活改善推進協議会、那覇市母子保健推進協議会

【地域自治功労部門】

糸数武、具志盛義、高良勇三、仲村良幸、西筋清治、新里忠信、岸本麗子、金城信榮、高良肇、田中静一、知念績太郎、渡久山恵子

【一般公益功労部門】

前原 正治

記念式典スナップ集

◀那覇市歌・みんなであうた合戦で着歌大賞の古蔵小学校音楽部が歌声を披露



▲記念舞台「心の宝」の1コマ。感動のフィナーレ!



▲市政功労者のみなさん

90周年記念グッズをプレゼント!

市制施行90周年にちなみ90人のみなさまに記念グッズをプレゼントします。

シールセットとシーサーのペーパークラフトとセットにした記念グッズです。みなさまのご応募をお待ちしています。

【応募方法】
ハガキに「90周年記念グッズ希望」と明記し、お名前、住所、電話番号を記入のうえ、左記宛先までご応募ください。

【応募先】〒900-8585 那覇市上之屋1-2-1(秘書広報課宛)

【応募期間】
6月17日(金)までに申し込む
※6月17日消印有効

【当選者発表】
厳正なる抽選により当選者を決定し、後日プレゼントを郵送します。

お問い合わせ
秘書広報課 ☎861-5173



那覇市 90年の足跡

県内の政治・経済・文化の中心的な役割を担い、沖縄の県都として発展を遂げる那覇。

市制が敷かれたのは大正10年(1921年)5月20日。当時の人口は、6万3千人でした。

その後、那覇市は区画整理や電気、水道の施設整備による近代化が進みました。しかし、昭和19年(1944年)10月10日の那覇大空襲、昭和20年の沖縄戦により壊滅的な被害を受け、多くの尊い生命とともに文化遺産など数多くのものを失いました。

それでも、先人たちの血と涙と英知で那覇のまちは不死鳥のごとく蘇り、現在では那覇新都心地区の繁栄やゆいレールの開通、沖縄セルラースタジアム那覇の誕生など都市機能が向上。「風格ある県都・那覇」の実現に向け、那覇市は歩みを進めます。

協力:那覇市歴史博物館

大正10年	5月	20日に 那覇、首里区に市制施行 初代那覇市長に当間重慎氏
	12月	那覇市章制定
昭和 4年	6月	普通選挙法による初の市会議員選挙
	10月	那覇市歌制定
昭和 9年	5月	牧志街道(新県道=国際通りの前身)開通
昭和15年		防空演習・防空壕掘りが盛んに行われるようになる
昭和16年	3月	第1回2市3村(那覇市・首里市・真和志村・小禄村・豊見城村)合併 促進打合せ開催
	12月	8日に日米戦争宣戦布告
昭和19年	10月	10日に米機動部隊沖縄大空襲(那覇市街の90%が消失)
昭和20年	4月	米軍沖縄本島へ上陸開始
	11月	10日に陶器と瓦工業復興の目的で男子先遣隊103人が壺屋町に入市
昭和21年	1月	壺屋区役所設置
	4月	壺屋区役所が那覇市役所になる
昭和25年	8月	1日にみなと村を那覇市に合併
昭和29年	9月	1日に首里市、小禄村を那覇市に合併
昭和31年	2月	首都建設法公布で那覇市が琉球の首都になる
昭和32年	12月	17日に真和志市を那覇市に合併
昭和35年	9月	自治会制度発足
	12月	旧奥武山公園野球場開場
昭和36年	5月	市制40周年記念として旧奥武山野球場で沖縄初のプロ野球公式戦 開催
昭和39年	1月	市民憲章制定
	9月	東京オリンピックの聖火、那覇市から国内リレーの第1歩を踏み出す
昭和40年	9月	那覇市役所庁舎(旧庁舎)落成
昭和41年	9月	旧首里支所完成
昭和43年	12月	旧水道局総合庁舎(現在の真和志支所)完成
昭和45年	11月	那覇市民会館オープン
昭和46年	6月	17日に沖縄返還協定調印
	10月	第1回那覇まつり開催。那覇大綱挽を復活
昭和47年	5月	15日に祖国復帰
昭和48年	2月	市の人口30万人を突破
	5月	若夏国体開催
昭和49年	3月	小禄支所完成
昭和50年	6月	60年ぶりに那覇ハーリー、泊港で再現
昭和58年	10月	市木(フクギ)、市花(プーゲンビレア)、市花木(ホウオウボク)を制定
昭和60年	12月	第1回NAHAマラソン開催
昭和61年	6月	核兵器廃絶平和都市宣言を決議
昭和62年	9月	第42回国民体育大会「海邦国体」開催
平成 3年	4月	県内初の再開発ビル パレットくもじオープン
平成 4年	9月	福州園開園
平成 7年	9月	大綱挽ギネス認定
	11月	国指定特別名勝「識名園」一般公開
平成12年	7月	サミットとミレニアムを記念して、守礼門を表図柄にした2千円札が発行
	10月	那覇新都心地区が街びらき
	12月	「首里城跡」「識名園」「園比屋武御嶽石門」「玉陵」がユネスコ世界遺産に登録
平成13年	11月	市制施行80周年記念「ゴルバチョフ氏講演会」を開催
平成14年	7月	本庁市民課がISO9001の認証取得
平成15年	5月	新都心銘苅庁舎が完成
	8月	沖縄都市モノレール「ゆいレール」開通
	10月	県内自治体では初の「環境ISO14001」認証取得
平成18年	4月	「那覇・南風原クリーンセンター」が本格稼働
	6月	琉球国王尚家関係資料が国宝に指定
平成19年	3月	那覇エコアイランド完成
		上下水道局新庁舎落成
	12月	「なは教育の日」制定
平成20年	4月	那覇市立病院が地方独立行政法人へ移行
平成21年	9月	大型旅客船バース暫定共用開始
		庁舎建替のため、仮庁舎へ移転(平成24年秋新庁舎落成予定)
平成22年	4月	沖縄セルラースタジアム那覇、沖縄セルラーパーク那覇落成
	9月	市の魚(マグロ)を制定
	12月	首里支所、新築移転
平成23年	2月	読売巨人軍 那覇春季キャンプ実施
	7月	さいおんスクエア竣工(予定)



戦前の崇元寺



山形屋と那覇市役所建物(左)が山形屋。正面の高い塔が市役所



国際通りの前身となる新県道。昭和9年開通



破壊された西町・通堂町付近



市制40周年を記念して行われたパレード：国際通り(昭和36年)



第1回那覇マラソン(昭和60年)



読売巨人軍那覇春季キャンプ(平成23年)
沖縄セルラースタジアム那覇をメイン会場に実施



市制施行を記念した祝賀行事(大正10年)
上之蔵にあった市役所前での旗頭



10.10空襲で炎上する那覇市街(昭和19年)



賑わう平和通り(昭和28年)

那覇市と真和志市の合併により、表札の取り換え(昭和32年)



波の上ビーチ一部オープン(平成3年)



ゆいレール開通(平成15年)
開通日の首里駅。戦後初めての軌道交通